

防災

## 耳より情報

## 感震ブレーカーで電気火災防止を！

大規模災害時の火災の主要な原因が通電火災（電気火災）であることが分かっている。特に、浦和区の大地震の際の火災による被害想定は、市内でも突出しており対策が重要である。市内で防災推進候補地区に指定された地区では、その抑止に効果が期待できる感震ブレーカーの購入補助制度がある。仕上げる工程をさいたま市社会福祉事業団の福祉作業所にて行っており、障がい者雇用にも貢献する事業となっている。一般にホームセンターなどで数千円程度で購入可能なものもあります。



## バスの自動運転、新型モビリティの実証実験が北浦和で！

大型バスによる自動運転の実証実験をレベル2（運転士が乗務し状況により手動運転に切り替えて走行）で実施する。11/4（火）から11/13（木）の平日で、北浦和駅西口から埼玉大学入口までの区間で1日往復各4便で体験乗車できます。体験乗車にはお申込みが必要です。席数に限りがあるので、ぜひお早目に。詳細は専用サイト参照（①）。

また、グリーンスローモビリティ（グリスロ）の実証実験を浦和区の針ヶ谷・北浦和地区で実施中。時速20キロ未満で公道を走れるゴルフ場のカートのような5人乗り電動車で、近距離の身近な移動手段として期待される。乗車賃は無料で、11/4（火）から12/19（金）の平日10～15時の実証実験の期間中は、申込不要で停止場所で席が空いていれば乗車可能（②）。今回はプロの運転手と地元のボランティアの方が1名添乗している。本格運行に向けては、有償ボランティアの検討や募集範囲、コース設定など、引き続き検証をしていきたい。



①自動運転バス実証



②グリスロ実証



## 小柳よしふみ 地域活動



わくわく浦和区フェスティバルで防災展示



国際ふれあいフェアでイベントお手伝い



草刈りなど、ご要望には迅速に対応しています



浦和北ロータリークラブにて卓話



地域の祭りに積極参加

## ご意見・ご要望をお聞かせください

-----

-----

-----

お名前 TEL

-----

ご住所

-----

## 第57回 市政報告会

浦和パルコ10階  
浦和コミュニティセンター

日 令和7年 11月16日(日)  
時 18:30～20:00  
入場無料

zoom  
オンライン参加可

会場 浦和コミュニティセンター  
第13集会室(東高砂町11-1 10F)



「後援会イベントでハイ、チーズ！」

市政へのご要望・ご質問は

小柳よしふみ

事務所

E-mail info@koyanagi.jp

ホームページ http://koyanagi.jp/

ブログ http://ameblo.jp/y-koyanagi/

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F

TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233



こやなぎ

## 小柳よしふみ

小柳よしふみ

検索

市政レポート  
2025.11 vol.65小柳よしふみ 事務所 〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233  
E-mail info@koyanagi.jp ホームページ http://koyanagi.jp/ ブログ http://ameblo.jp/y-koyanagi/令和  
6年度一般会計決算は  
3年ぶり認定！

～本市の個性と市民の声を生かした選択の時代に～

皆様お変わりなくお過ごしでしょうか？この時期には、芸術・文化、スポーツ、防災訓練やお祭りなど、秋の行事やイベントが各地で行われております。その際には、地域や身の回りの課題などをお聞きできる貴重な機会ともさせていただいております。ご設営に関わってくださった皆様のご尽力に、心から感謝を申し上げます。

さて、10月17日に閉会した9月定例会では、小柳よしふみは、子ども文教委員会、市庁舎等整備検討特別委員会のほか、決算特別委員会での決算議案の審査および本会議での討論などを担当し、精力的に活動いたしました。特に、過去2年続けて不認定となっている一般会計決算や、赤字となり今後の経営方針を再構築しなければならないさいたま市立病院の問題は議論となりました。また、物価高騰や業者不足も重なって、大型公共工事の入札不調が続いています。もはや役所仕事を民間企業が選ばない時代になってきています。時代の変化を認識して、役所も変化をしないとはいけません。

また、関東大震災が発生した9月1日は「防災の日」であり、秋には各地域で防災訓練が行われています。本年は昭和100年にあたる年です。過去の災害事例を教訓にして、今後に生かしていくことが重要です。本レポートでも防災関係の情報や議会での議論を紹介しております。ぜひ参考にいただければと思います。

最後になりますが、だんだんと朝夕は肌寒い季節になってまいりました。どうか皆様におかれましては、ご自愛いただきお過ごし下さいますよう、お祈り申し上げます。



- 昭和40年(1965年)8月27日生まれ A型
- 浦和市立高砂小、岸中、県立浦和高、慶應義塾大商学部卒業。
- 埼玉銀行を経て、警備会社を経営。平成23年よりさいたま市議員(浦和区)。
- 平成27年(2期目)、平成31年(3期目)、令和5年(4期目)浦和区にて当選。
- 子ども文教委員会、決算特別委員会、市庁舎等整備検討特別委員会

議会ごとに市政レポート発行(vol.65)  
市政報告会開催(56回) 継続中！

## TOPICS

## 1 〈令和6年度〉決算議案は、3年ぶり認定

過去2年続けての一般会計決算不認定が続いていたが、令和6年度一般会計、特別会計は認定となった。一般会計決算は、歳入、歳出いずれも前年度を上回り、過去最大規模となった。ただ、約70億円の特別な市債の活用によって収支を補っていたり、物価高の影響で公共工事の入札不調が続くなど厳しい財政運営の状況にある（詳細 中面）。

2 デジタル地域通貨  
キャンペーン情報

11月1日開始の「家計に「ほっ♪」日々のくらし応援キャンペーン」では、市内在住者が「さいコイン」で支払うと15%を「たまポン」で還元。チャージ時の最大3%還元と併用し、最大18%還元。65歳以上対象のアンケート回答で2,000ポイント付与、転入者向けの2,000円相当ポイント進呈、シルバーポイントを「たまポン」に交換できる制度等も実施中(中面記事 参照)。

## 3 さいたま市100歳以上は627人

市内最高齢は110歳(男性)であり、100歳以上は男性109人、女性518人で昨年比+27人で過去最高となった(9月1日現在)。本市の高齢化率(65歳以上人口割合)は23.38%であり、全国の29.4%、埼玉県の27.09%と比べて低い。市内で1番高いのは岩槻区で30.12%、1番低いのは南区の20.24%。浦和区は2番目に低い21.14%となっている。

4 「デジタル意見ひろば」で  
市民の声を聞く！

ウェブ上で市民と意見を共有する「デジタル意見ひろば」を開設。市が設定するテーマに意見やアイデアを投稿してもらい、施策に反映・活用する。登録が不要で、匿名でスマホからも手軽に投稿できる。市内に在住、在勤、在学している個人や団体が対象。第1回「本庁舎移転後どんな場所になったらよい?」の結果も公開中。第2回は11月頃「防災時の避難所運営」を予定。



# 令和6年度 一般会計決算報告 決算のポイント

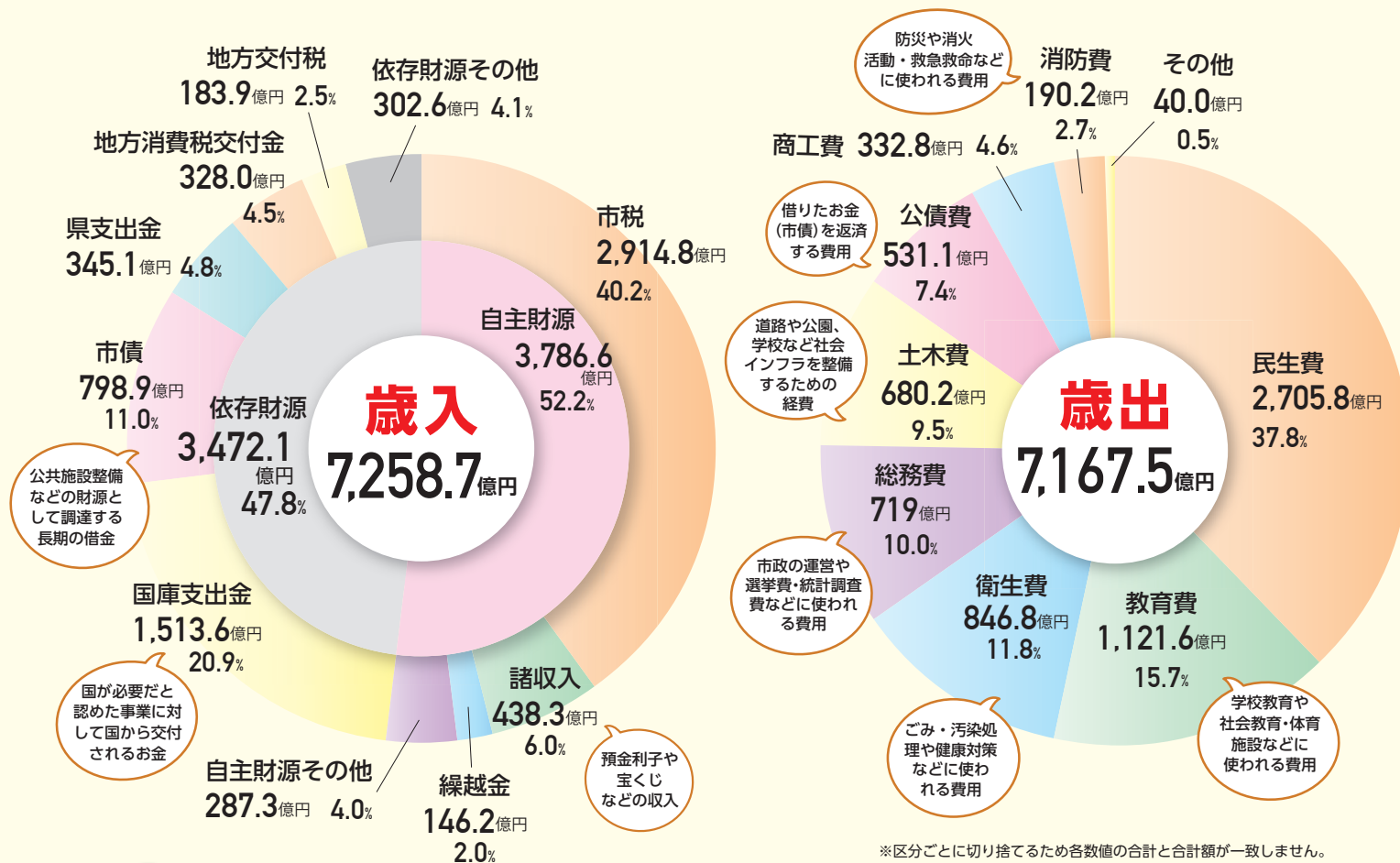
- 決算規模は、過去最大を記録
- 実質収支は54億77百万円で連続黒字を達成
- 総務費、民生費、衛生費が増加、土木費が減少

&lt;表1&gt;

(単位:百万円、%)

区 分	令和6年度	令和5年度	増減額	増減率
① 予算現額	764,453	716,150	48,303	6.7
② 歳入決算額	725,870	681,539	44,331	6.5
③ 歳出決算額	716,754	666,919	49,836	7.5
④ 差引額(②-③)(形式収支額)	9,116	14,620	▲5,505	▲37.7
⑤ 翌年度へ繰り越すべき財源	3,639	2,663	976	36.6
⑥ 実質収支額(④-⑤)	5,477	11,957	▲6,480	▲54.2
⑦ 前年度実質収支額	11,957	5,961	5,997	100.6
⑧ 単年度収支額(⑥-⑦)	▲6,480	5,996	▲12,477	▲208.1

※金額については百万円単位のため差引額等が合わない場合があります。



## 小柳視点 決算概況

財政健全化判断の各指数は、健全財政であることを示している。一方で、人口増、若年層の転入が日本一、税収増という好条件にも関わらず収支不足は拡大し、財政運営が厳しい理由の分析と対策は必要である。事業のスクラップ&ビルドがうまく機能していないのが1つの要因ではないか。物価高の影響もあり公共事業の入札不調も続いており、この対策も重要課題である。事業や施策の優先順位や取捨選択を、より明確にしていく必要がある。

## 病院事業会計について

物価高や人件費高騰の影響で、2年連続の赤字となった。周産期医療や救急対応など、地域医療の基幹病院としての役割は高く評価できる。ただ、中期財政計画で予定している黒字化の見通しも立たず、キャッシュフローも厳しい状況にある。公立病院としての使命と経営健全化を両立させるための抜本的改革と、市としてどこまでどのような支援が最適なのかを、早急に再検討する必要がある。



## 決算議案審査から

### 残業の要因となる窓口開庁時間と勤務時間帯の見直しを！

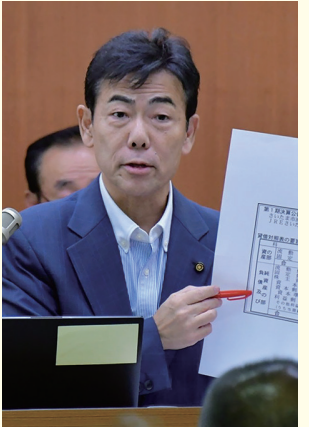
Q 窓口の開庁時間と勤務時間が同一時間帯となっていることが残業の要因となっており、改善の必要があるのではないか？

A ほとんどの窓口業務の開始前には、釣銭や必要書類などの準備作業が毎朝必要で、朝のミーティングでの確認などにより事務ミスが減らすような取り組みも、シフト制などの対応だけでは困難な状況がある。



サービス残業も心配され、見直すべき。政令市や東京

23区の多くで、始業時間から開庁時間を少し遅らせるところが増えている。また、決算委員会後に人事委員会からもこの点の改善勧告が出された。DX化の推進や業務改善により市民サービスの低下を防ぎながら、働き方改革を進めるべきである。



### 管理不全マンションや空き家への積極的な対応を

Q 管理不全の可能性が想定されるマンションはどのくらいあるのか？管理不全マンションや特定空き家に対して代執行の実施状況はどうか？

A 本市実施の実態調査に対し未回答など約4割の実態が把握できていない。管理組合未結成の数は8件、修繕積立のないマンションの数は9件が確認されている。これまで代執行の例はない。



野洲市の管理不全マンション



約20件の将来的な管理不全物件が見つかり、実際にはそれ以上と予想される。基準をより明確にし、住環境の悪化や近隣住民の命にも関わる管理不全物件に対して、より積極的な指導、監督を進めるべき。

## ◎デジタル地域通貨キャンペーン・特典情報

11月1日からの「家計に“ほっ”日々の暮らし応援キャンペーン」では、市内在住者の「さいコイン」での支払額の15%分の「たまボン」、「さいコイン」チャージ時の還元(最大3%)とで、最大18%還元となる。1回の還元上限は1,500ポイント、期間中1人あたり10,000ポイントまでです。また、65歳以上の方には、アンケート回答で2,000ポイント(たまボン)を付与する「くらしの“声”を聞かせてキャンペーン」を実施中。さらに、長寿応援・いきいきボランティアポイントでは、各ポイントを「たまボン」に交換でき、1ポイント=1円相当として利用可能です。その他、「転入者キャンペーン」を展開。ポイント利用にあたっては、条件がある場合もあり詳細ご確認の上ご活用ください。



デジタル地域通貨事業の情報開示が不十分と感じている。(株)つなぐの赤字額も小柳との決算審査の答弁で明らかにした。より丁寧な情報開示が事業への安定的な支援につながる。市がどこまでどんな支援をするのか、一考の余地がある。

## 「オーガニックビレッジ宣言」で本市農業のブランド化！

市が準備を進める「オーガニックビレッジ宣言」は、数年前から小柳が取り組んできたテーマ。環境と体にやさしい農業を地域全体で広げる取り組みを支援する制度。減農薬、化学肥料や農薬に頼らない有機農業を支援し、学校給食や地元販売への活用を進め、「地元で育てた安心な食」を味わえる環境づくりを目指す。なお、11月8日(土)・9日(日)には浦和駅前で「さいたまOrganic City Fes.」が開催されます。なお、8日(土)の午前中に市長より宣言の発表が予定されています。

## 「ヌッパーク」がオープン

本市パークPFIの2例目である三室中央公園(愛称:ヌッパーク)(緑区三室)が、10月25日(土)オープン。つながりヌウをモチーフに、「ヌウのすべり台」のある遊びの広場、「おにぎりカフェ(NOOCAFE)」を備えたコミュニティハウス、防災機能として、火の延焼を抑える植栽、ソーラー照明、浸水対策のレインガーデン・砕石層などを整備。「田んぼ・果樹園」エリアなどから見沼んぼを想起させる設計となっている。

